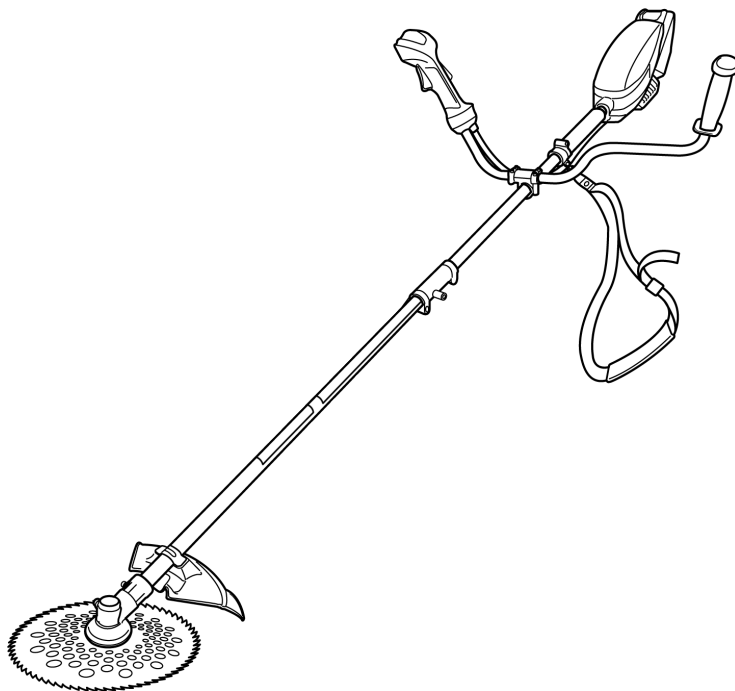


取扱説明書

バッテリー刈払機

BCB360



使用時以外（保管・運搬・点検・整備）は、必ず
バッテリーを本機から取り外してください。


刈払機の
正しい使い方



この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐ重要な注意事項と本製品の取扱方法が指示されています。
- 本製品を使用する前に本取扱説明書を熟読し、十分理解された上で、ご使用ください。
- 本取扱説明書は必要なときにすぐに参照できるよう、大切に保管してください。
- 本取扱説明書が損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。

お知らせ

- 本製品は日本国内専用です。日本国内のみでご使用ください。
- 初めてお使いになる場合は、バッテリーの充電をしてください。
-  リチウムイオンバッテリーのリサイクルにご協力ください。

はじめに

- 本製品は地表の雑草刈りを目的とした製品です。
- 目的以外の作業への使用や改造を行った場合は、保証の対象外となります。雑草刈り以外の作業や改造が原因での事故に関して、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様変更などにより、ご購入の製品と本書の内容が一致しない場合がございます。
- 本取扱説明書は一般使用者および業務で本製品を使用される方、現場責任者を対象としています。
- 関係法令（消防法、廃棄物処理法、騒音規制法や騒音に関する条例）を遵守してください。
- 一般使用者の方で初めて刈払機を使う方、または本製品の使用に自信の持てない方は、使用前に熟練者から指導を受けること、もしくは、教育機関の主催する「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受けることを推奨します。
- 事業者様へ
本製品を作業者に使用させる場合には、厚生労働省が定める「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」(厚生労働省・基発第 66 号)を受講させてください。

⚠️ 安全に作業するために

■ 使用目的

本製品は健康な 16 歳以上の方が、雑草刈りに使用することを目的とした製品です。けがや本製品の破損のおそれがあるため、目的以外の作業（枝打ちや木の伐採、材木の切断など）へ使用しないでください。

■ 警告表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。



- ⚠️ **危険** … もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るもの。
- ⚠️ **警告** … その警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るおそれがあるもの。
- ⚠️ **注意** … その警告に従わなかった場合、けがに至るおそれがあるもの。および本製品や周辺の物的損害が発生するおそれがあるもの。


■ その他の表示について

- お知らせ** … 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項。
- お願い** …… 必ず実施していただきたい推奨事項。

■ シンボルマークについて




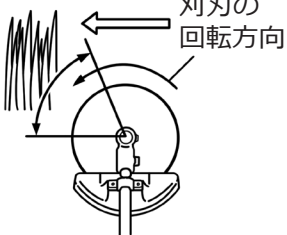
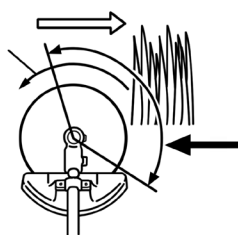
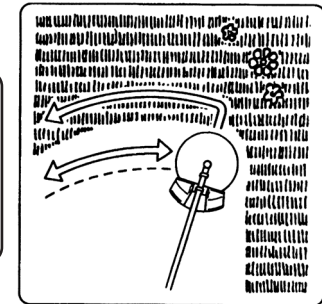
本製品および取扱説明書に下記のシンボルマークを掲載しています。このシンボルマークの意味をご理解の上で、ご使用ください。

-  製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する表示マーク。
-  製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに関する注意事項であることを示す表示マーク。
-  製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する表示マーク。

	ご使用前に、取扱説明書をよく読んで理解し、使用すること。		感電のおそれがあるため、分解はしないでください。また、メンテナンス作業はバッテリーを取り外して作業を行なってください。
	作業中は保護メガネ、耳栓、ヘルメットなどの防護具を必ず装着すること。		刈払い作業時の飛散物に注意すること。
	飛散物防護カバーを必ず指定の位置へ取り付けて作業すること。		雨天での作業や、水濡れの可能性のある場所での作業は行わないでください。故障の原因となります。
	作業中は 15m 以内に人、動物が近付かないようにすること。複数台で作業するときもこの距離を守ること。		

本製品は刈刃を回転させて作業する機械です。取扱方法を誤ると事故を招きます。下記の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 危険

	<p>斜面直上作業の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 斜面直上での作業はしないでください。 足を滑らせ体が刃物に触れ、死亡事故に至ります。
	<p>下記の項目を必ず守ってください。 守らないと火災や事故に至ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 引火や爆発のおそれがある揮発性物質がある場所では、本製品を使用しないでください
	<p>半径 15 m以内を危険区域として、作業中は下記の項目を守ってください。 守らないと刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、死亡事故や失明などの重傷に至ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 危険区域に人や動物を入れないでください。 ■ 危険区域に人や動物が入ったときは、刈払機を停止してください。 ■ 作業者に近づくときは、危険区域外から笛などを使って作業者に合図し、刈払機の停止を確認してから近づいてください。 ■ 2名以上で作業するときは、お互いの危険区域に入らないでください。
	<p>金属刃使用时キックバック注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 金属製刈刃を使用の際は、障害物は取り除くか目印を付け近づかないようにし、正しい操作で作業してください。 【キックバック】が起こり事故や重傷に至ります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="260 1128 547 1406"> <p>正しい操作</p>  </div> <div data-bbox="547 1128 786 1406"> <p>危険な操作</p>  </div> <div data-bbox="786 1173 1134 1368" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【キックバック】 この範囲で刈刃が硬いものに当たると反動で刈刃が予期しない方向へはねかえされます。</p> </div> <div data-bbox="1134 1111 1457 1413">  </div> </div>

警告

使用目的以外の使用禁止

- **本製品は雑草刈りを目的とした製品です。目的以外の作業には使用しないでください。**
目的以外に使用すると、刈刃との接触や刈刃からの飛散物により重傷に至るおそれや、他人に傷害を与えるおそれがあります。また、本製品が破損するおそれもあります。

改造禁止

- **本製品の改造は行わないでください。**
安全装置が機能しなくなる、本製品の破損や飛散物により事故や重傷に至るおそれがあります。
- **本製品を他の製品などに組み込んで使用しないでください。**
安全性を損ない事故や重傷に至るおそれがあります。

部品取り禁止

- **本製品から組立部品や部品単体を取り外して、他の製品で使用しないでください。**
他の製品に使用すると本来の性能が発揮できないだけでなく、使用した製品の破損、事故や重傷に至るおそれがあります。

使用者に関する注意事項

- **体調の悪いとき、酒類を飲んだときは作業しないでください。**
正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。
- **16歳未満の人、妊娠している人は作業しないでください。**
正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。

使用環境に関する注意事項

- **降雨時や落雷のおそれがあるとき、夜間など見通しが悪いときは作業しないでください。**
感電、被雷、転倒、転落など事故や重傷に至るおそれがあります。
- **足元が滑りやすい場所、急傾斜地では作業しないでください。**
転倒してけがに至るおそれがあります。
- **ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など、足元が不安定な場所では作業しないでください。**
転倒や転落などによりけがに至るおそれがあります。



警告

作業着、保護具について

正しい服装の一例

ヘルメットを着け、あごひもを締める(あごひもの結びは外へ長く垂らさない)

耳栓/イヤーマフを着ける

フェイスシールドを着ける

保護メガネ(ゴーグル)を着ける

合図のための呼笛などは、垂らさずにポケットに入れる

腕カバーを着ける

防振用保護手袋を着ける

靴底に滑り止めが付いて、つま先に芯の入った長靴タイプの安全靴/耐切創長靴を履く

すね当てを着ける

■ 袖や裾のしまりの良い長袖、長ズボンの衣服を着用し、ネクタイやネックレスなどのアクセサリは外してください。また、髪の毛は肩より上でまとめてください。

回転部に巻き込まれ、けがに至るおそれがあります。

■ 保護メガネ(ゴーグル)、フェイスシールド、耳栓やイヤーマフ、ヘルメット、保護手袋(防振用)、安全靴、すね当てなどの保護具を必ず装着してください。

刈刃との接触や刈刃からの飛散物、本製品からの作業音により、視覚障害、聴覚障害、けがなどの重傷に至るおそれがあります。

本製品を他人に貸すとき

■ 本製品を他人に貸す場合は取扱方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。

注意

始業点検の重要性

■ 作業の前に始業点検を行ってください。

作業前に点検を行い、処置することにより故障や事故を未然に防ぐことができます。詳細は25ページの「4. 始業点検」を参照してください。

■ 充電器・バッテリーに関する注意事項

危険

下記の項目を必ず守って充電器とバッテリーをご使用ください。

誤って使用すると、バッテリーの漏液、発熱、発火、破裂に至ります。

- 分解・改造しないでください。
- ハンダ付けしないでください。
- 充電には、専用の充電器をご使用ください。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーの端子部（+端子と-端子など）を金属類で接続しないでください。
- 指定された機器以外に接続しないでください。
- 電源コンセントや自動車の電源取出口（シガレットライターの差込口など）に直接接続しないでください。
- 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。



充電器の取り扱い

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で使用すると、異常に発熱し、火災に至ります。
- 充電中にバッテリー、充電器を布などで覆わないでください。
覆ってしまうと、破裂や火災に至ります。
- 芯線の露出や断線など、電源コードが傷んだら使用しないでください。
傷んだものを使用すると、火災、感電に至ります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して火災、感電に至ります。
- コードの上に重いものをのせたり、本製品の下敷きにならないようにしてください。
コードが傷ついて火災、感電に至ります。
- 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
上記の条件下で充電すると、バッテリーの破裂や火災に至ります。


バッテリーの取り扱い

- 専用のバッテリー以外を使用しないでください。
専用のバッテリー以外のものを使用すると、事故や発煙、発熱、発火、破裂、故障などに至ります。
- 改造したバッテリー（分解したセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
改造したバッテリーを使用すると、本製品の性能や安全性も損なうおそれがあり、事故や故障、発煙、発熱、発火、破裂などに至ります。
- バッテリーを落下させたり、ぶつかけたりしないでください。
バッテリーの漏液、発熱、発火、破裂に至ります。
- バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電しないでください。
高温の場所で充電すると、発熱、発火、破裂に至ります。

警告

	<p>充電器の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">■ 屋内の乾燥した場所で充電してください。 充電製品は湿気の 高い場所での使用、濡れた場所、雨の中では使用しないでください。内部に水が入ると感電やバッテリー短絡の危険性があります。■ 必ず手に付いた水気をふき取ってから、作業してください。 濡れた手で作業すると、感電に至るおそれがあります。
	<p>バッテリーの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">■ 運搬時、調整時には必ずバッテリーを取り外してください。 本製品はバッテリーを装着するといつでも運転可能な状態になり、運搬時など意図せず運転されるおそれがあります。■ バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の診察を受けてください。 そのまま放置すると、失明に至ります。■ バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。 付着したまま放置すると、皮膚障害に至るおそれがあります。■ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。 おもちゃと間違え大人の真似をして触ると、感電や皮膚障害に至るおそれがあります。

注意

	<p>充電に関する注意事項</p> <ul style="list-style-type: none">■ バッテリーの充電は屋内で行ってください。 直射日光が当たる場所で充電を行うと、故障に至るおそれがあります。■ 充電は周囲温度 10 ～ 40℃の範囲内で行ってください。 範囲外での充電は故障に至るおそれがあります。
---	---

お願い

- **開梱後、本製品を使用する前にバッテリーの充電を行ってください。**
お買い上げ時のバッテリーは、十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- **充電器をつないだままで長時間放置しないでください。**
過充電となりバッテリーの寿命を縮めます。
- **バッテリーの充電をしないときは、充電器を電源コンセントから外し、バッテリーを充電器から外して保管してください。**

警告ラベルの取り扱い

⚠ 注意



下記の項目を守ってください。

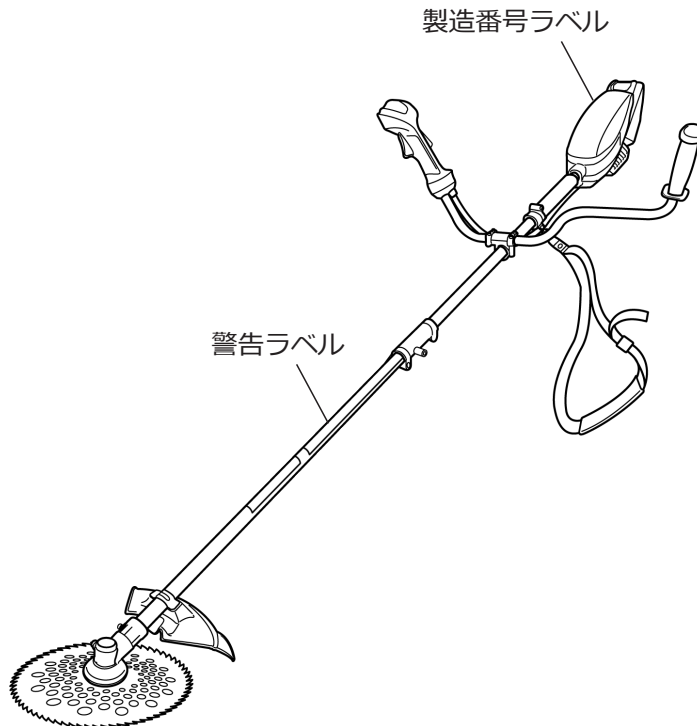
本製品の正しい使い方を確認できず、けがに至るおそれがあります。

- 警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しいラベルを同じ位置に貼り替えてください。
※新しいラベルについては、ご購入の販売店に部品番号で注文してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※本製品には、下の図に示す位置に下記の警告ラベルが貼ってあります。

本製品のご使用前に **1 ページの「■ シンボルマークについて」**を参照し、その意味を理解した上で、下記ラベルの表示内容を守って作業してください。また型式名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、裏表紙にメモしてください。

① 警告ラベル (部品番号 : 558415)



目次

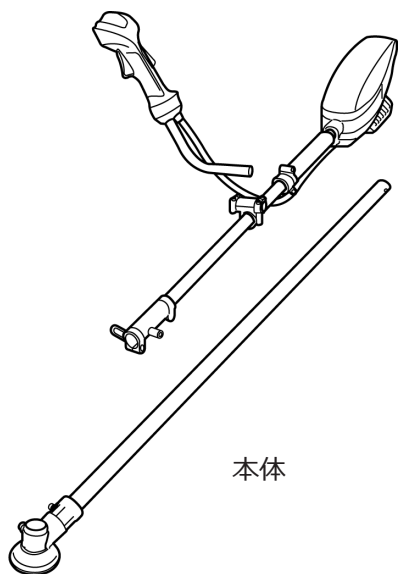
▲安全に作業するために	1	6. 刈払作業	29
警告ラベルの取り扱い	7	(1) 刈払機の保持	29
1. 梱包品と各部のなまえ	9	(2) 刈刃の回転・停止	30
(1) 梱包品の確認	9	(3) 刈払作業	31
(2) 各部のなまえ	10	(4) 作業後	34
2. 組み立て	11	7. 点検・整備	34
(1) ハンドルの組み立て	11	(1) ギヤケースの点検・整備	36
(2) 飛散防護カバーの取り付け	12	(2) 刈刃の点検	37
(3) 作業機の組み付け・分割	13	(3) ボルト・ネジの点検	37
(4) 刈刃の選定	15	8. 長期保管	38
(5) 刈刃カバーの取り付け・取り外し	16	9. 故障と対策	39
(6) 刈刃の取り付け・取り外し	17	10. 転売・譲渡・廃棄	41
(7) 組み立て完了	19	11. 主要諸元	42
3. 作業の準備	20	12. オプション(純正品一覧)	43
(1) 作業者の服装と保護具の装着	20		
(2) 肩掛バンドの調整と使い方	20		
(3) バッテリーの取り付け・取り外し	21		
(4) バッテリーの充電	22		
(5) バッテリー残容量の見方	23		
(6) 運搬の仕方	24		
(7) 作業現場の整備	24		
(8) 作業計画	24		
4. 始業点検	25		
5. 始動と停止	27		
(1) 始動の前に	27		
(2) 始動・運転	27		
(3) 運転の停止	28		

1. 梱包品と各部のなまえ

(1) 梱包品の確認

開梱時に下図を参照して部品が揃っているか、破損や変形はないかを確認してください。問題がある場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。

()内は部品番号です。



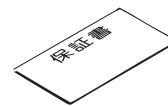
本体



クイックスタート
マニュアル /1 部
(558427)



安全マニュアル
/1 部
(558428)



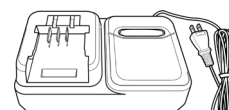
保証書 /1 部



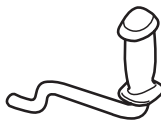
保護メガネ /1 個
(221460)



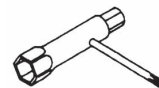
バッテリー /1 個
(558270)



充電器 /1 個
(558228)



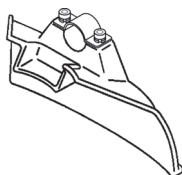
左ハンドル /1 個
(558419)



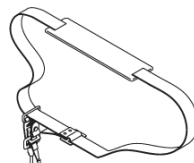
コンビボックス
スパナ /1 個
(210418)



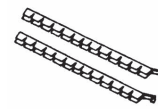
六角棒スパナ
4mm /1 個
(219432)



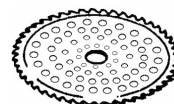
飛散防護
カバー /1 個
(245445)



肩掛バンド /1 個
(220533)



刈刃カバー
1 セット (2 本)
(220534)



チップソー /1 枚
(558423)

本体に装着済みの部品



刈刃取付用
ナット /1 個
(640090)



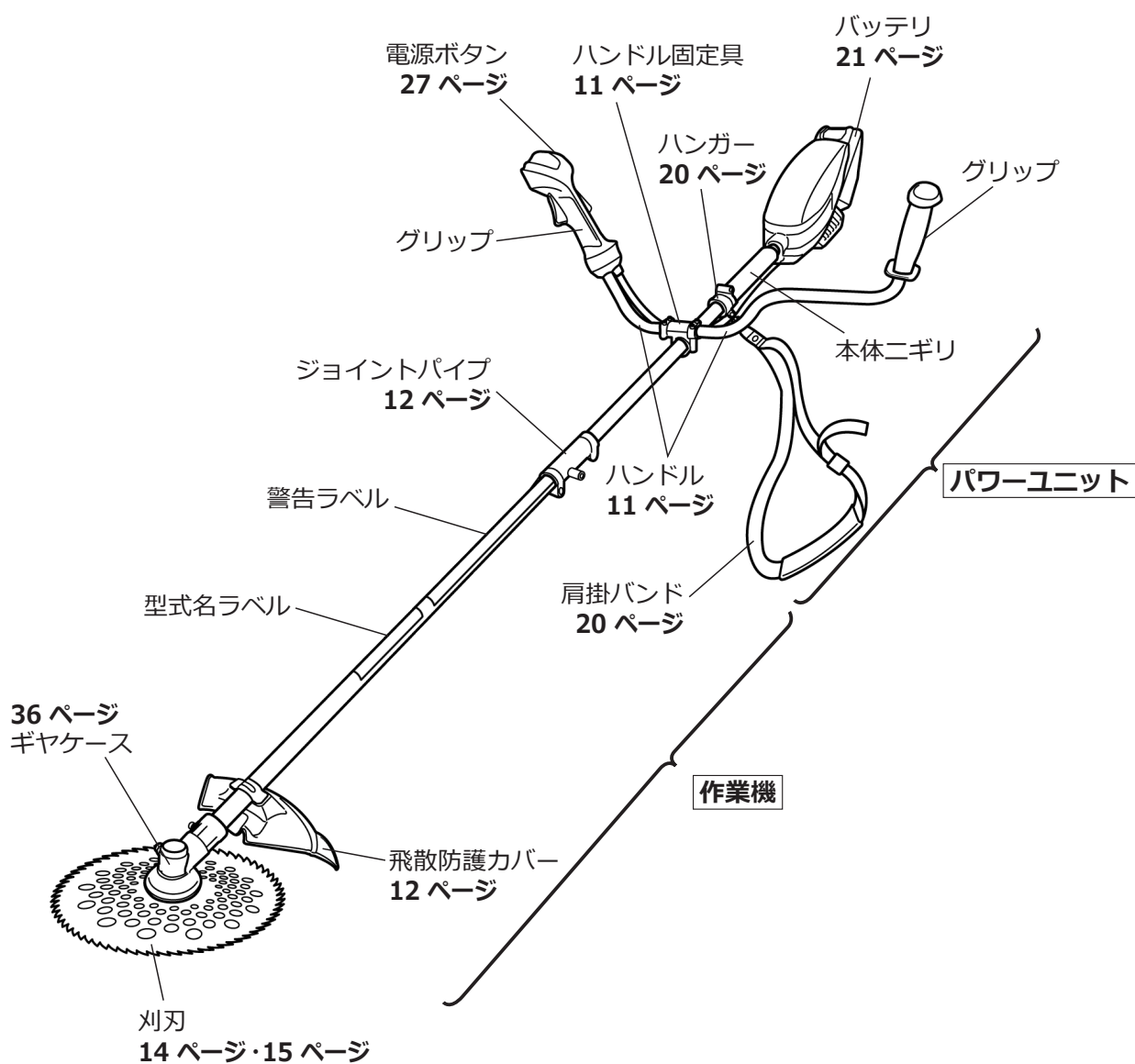
刃受金具 /1 個
(472864)



刃押さえ金具 /1 個
(425144)

(2) 各部のなまえ

図中に当該部品が関連する本取扱説明書のページ番号を示しています。



2. 組み立て

警告



- 「2. 組み立て」に記載の内容を十分理解したうえで、正しく組み立ててください。
組み立てを誤ると事故や重傷に至るおそれがあります。

注意



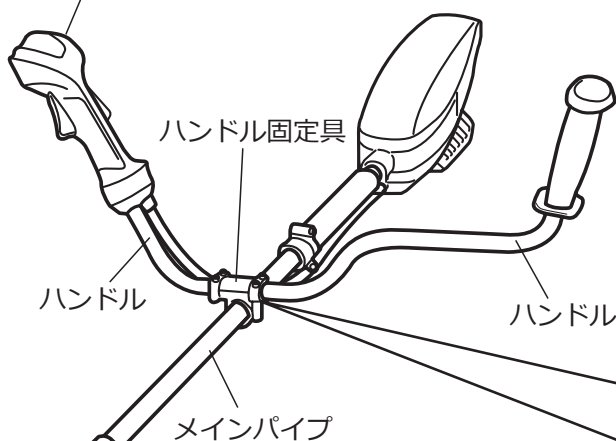
- 関係のない人が立ち入らないようにしてください。
刈刃に接触するなど事故に至るおそれがあります。
- 周りに障害物がなく十分な明るさのある、水平で安定した場所で組み立ててください。
周りに障害物がある場所、暗い場所や不安定な場所では、組み立てが不適切となり事故に至るおそれがあります。

(1) ハンドルの組み立て

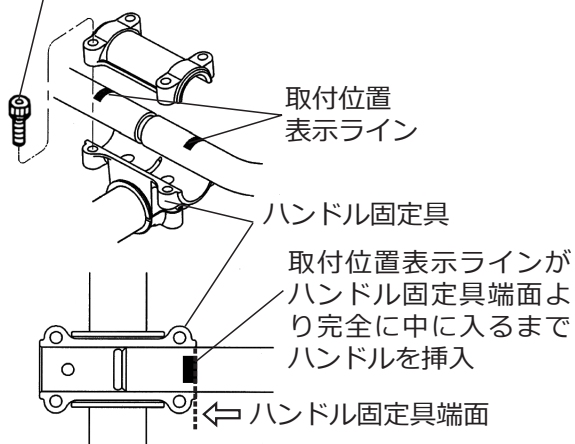
1) 両手ハンドル

- ① 付属の六角棒スパナ(4 mm)を用意してください。
- ② 左右のハンドルの取付表示ラインが、ハンドル固定具端面より完全に中に入るまで挿入してください。
このとき、スイッチレバーの付いているハンドルを右手側に組み立ててください。
- ③ 左右のハンドルは極端に前後の傾斜をつけることなく、図のようにメインパイプとほぼ直角になるように六角穴付きボルトで仮止めしてください。
- ④ 付属の六角棒スパナ(4 mm)で六角穴付きボルトを片締めにならないように確実に締め付けてください(締め付けトルク4～5N・m)。
- ⑤ 両手ハンドルの組み立てを終えたら、ガタがないか、斜めに組み立てていないか、六角穴付きボルトの締め忘れがないかを確認してください。

電源ボタン
(こちらのハンドルを右手側に組み立てる)



六角穴付きボルト(4個)



お知らせ

- 締め付けに自信の持てない方は、ご購入の販売店に組み立てを依頼するか、トルクレンチを使用してください。

(2) 飛散防護カバーの取り付け

警告

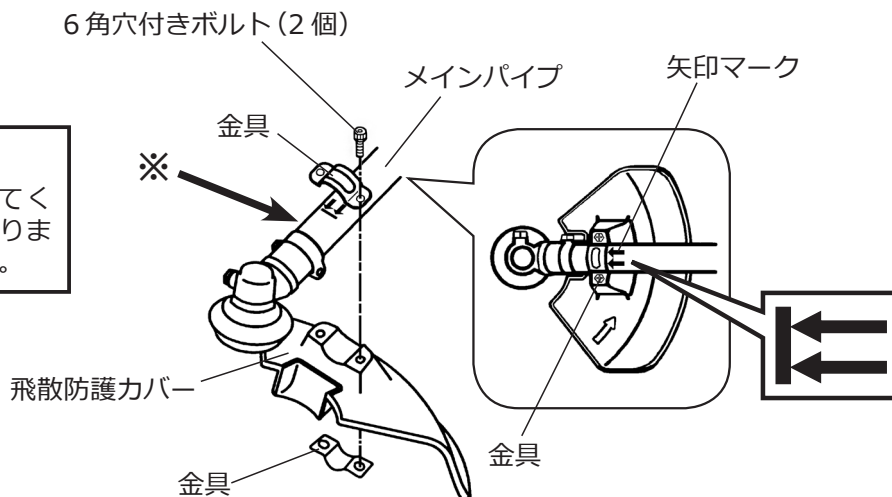


- 飛散防護カバーは必ず適正な位置に正しく取り付けてください。
刈刃からの飛散物(ゴミや砂利、石など)により、死亡または失明などの重傷に至るおそれがあります。

- ① 付属の六角棒スパナ(4 mm)を用意してください。
- ② メインパイプの矢印マークの位置に飛散防護カバーを、図のように上下から金具で挟んでください。
- ③ 六角棒スパナ(4 mm)で六角穴付きボルトを均等に締め付けて固定してください(締め付けトルク4 ~ 5N・m)。

お願い

- ※部分に油分(グリス)がしみ出てくる場合がありますが、異常ではありません。拭き取ってご使用ください。



(3) 作業機の組み付け・分割

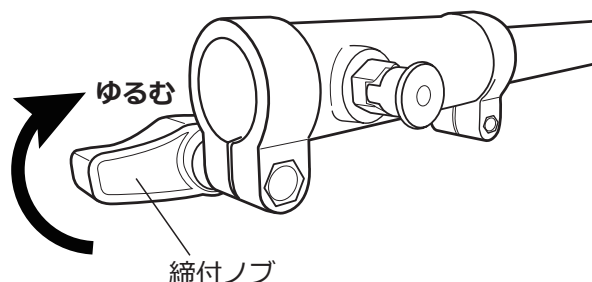
注意



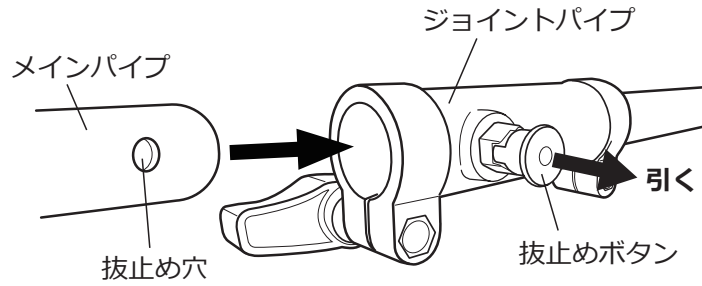
- 作業機の組み付け・分割時は必ずバッテリーを外してください。
刈刃が急に回転するなど、けがに至るおそれがあります。
- 抜止めボタンが引き出されたまま使用しないでください。
作業機が外れてけがに至るおそれがあります。
- 組付後、必ず締付ノブをしっかりと締め付けてください。
締め付けないと、作業機が外れてけがに至るおそれがあります。

1) 組付

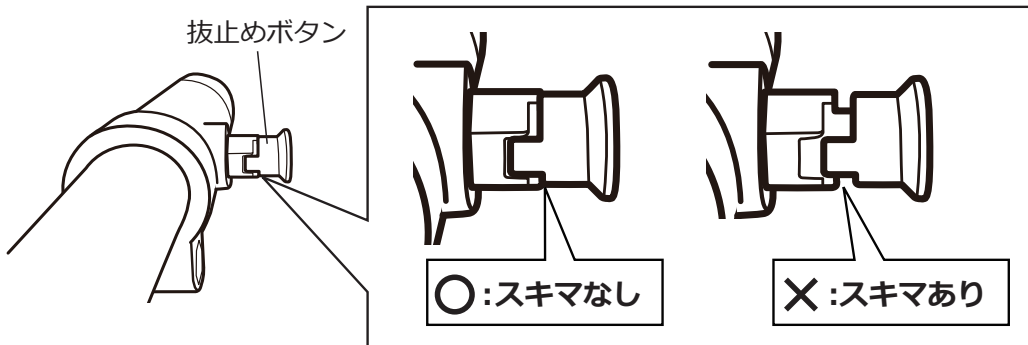
- ① 締付ノブをゆるめてください。



- ② 図のようにジョイントパイプの抜止めボタンと、メインパイプの抜止め穴の向きを合わせてください。
 抜止めボタンを引き、メインパイプを回転させながら入れてください。
 ※ 指をはさまないように注意してください。

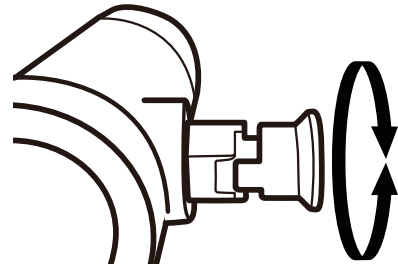


- ③ 抜止めボタンがしっかりと抜止め穴に入っていることを確認してください。

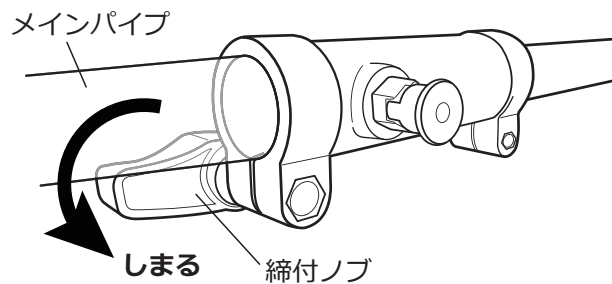


お願い

- 抜け止めボタンを引いたとき、戻らなくなることがあります。戻らない場合は、抜け止めボタンを図のように回してください。

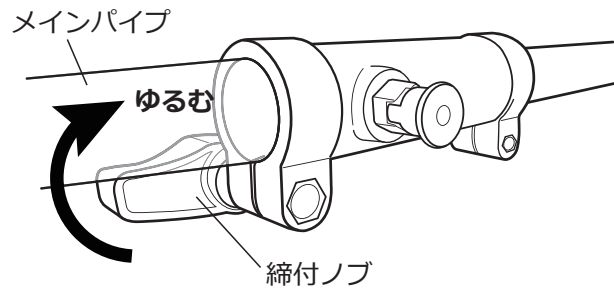


- ④ 締付ノブを締め付け、作業機を**しっかり**固定してください。

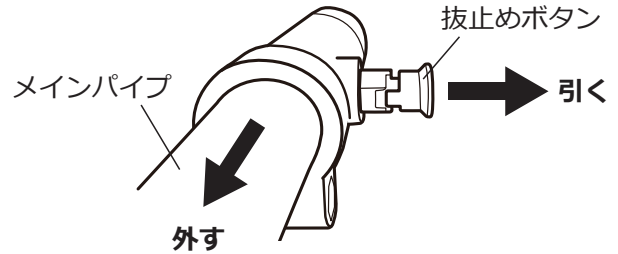


2) 分割

- ① 締付ノブをゆるめてください。

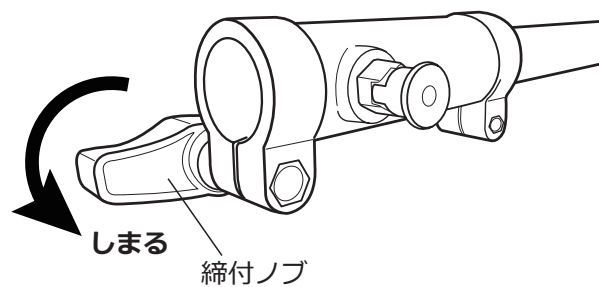


- ② 抜止めボタンを引き出しながらメインパイプを外してください。



- ③ 脱落防止のため締付ノブを締め付けておいてください。

- ※ 締付ノブ、座金、ボルト、ナットをなくさないようにしてください。



(4) 刈刃の選定

- チップソー……………雑草刈り用に設計されています。

⚠ 注意



- 刈刃は当社純正部品を使用してください。
メーカー指定の標準刈刃より大きい刈刃を使用すると、故障の原因になります。
- 本製品はチップソー 230mm を使用してください。

警告



- 刈刃やその他の部品は、本製品に該当する純正品を使用してください。間に合わせのものや粗悪なものを使用すると、早期破損やゆるみ、異常振動などにより、事故やけが、本製品の故障に至るおそれがあります。

注意



- 2枚刃、3枚刃など指定外の刈刃は使用しないでください。使用すると事故やけがに至るおそれがあります。
- 付属の刈刃は本製品による雑草刈り以外に使用しないでください。使用すると事故やけがに至るおそれがあります。
- 純正品であっても仕様に記載された標準刈刃より大きい刈刃を使用しないでください。使用すると故障に至るおそれがあります。

(5) 刈刃カバーの取り付け・取り外し

注意



- 刈刃カバーの取り付け・取り外しをするときは、必ず保護(耐切創)手袋を装着してください。刃先に触れてけがに至るおそれがあります。
- 作業中以外は刈刃に刈刃カバーを取り付けてください。刃先に触れてけがに至るおそれや、他の人を傷つけるおそれがあります。
- 刈刃を取り扱う際は刃先に触れないように注意してください。刃先に触れてけがに至るおそれがあります。
- 作業を始める前に必ず刈刃カバーを取り外してください。刈刃カバーが飛散してけがに至るおそれがあります。

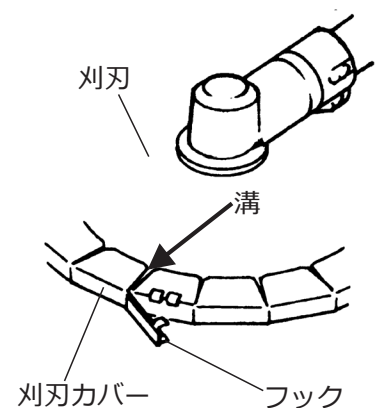
作業の前に保護(耐切創)手袋を装着してください。

■ 刈刃カバーの取り付け




刈刃の刃先を刈刃カバーの溝に押し込んで、フックで固定してください。

■ 刈刃カバーの取り外し

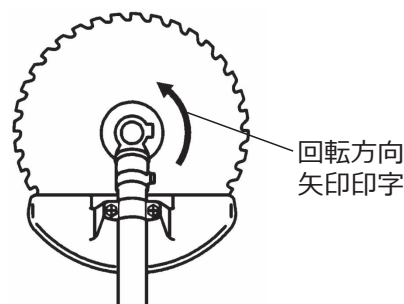
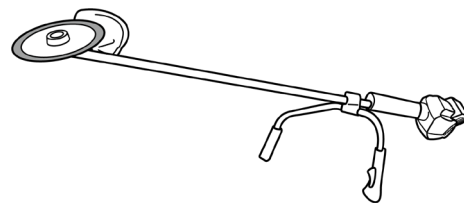
フックを外し、刈刃カバーを外側に広げるようにして外してください。





(6) 刈刃の取り付け・取り外し

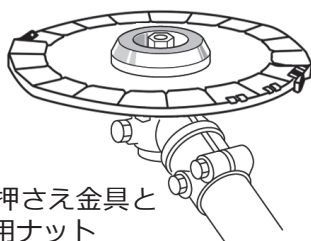
 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源を入れたまま刈刃の取り付け・取り外しは行わないでください。 刈刃が突然回転したり、脱落するなどして体に接触すると、死亡または重傷に至るおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 刈刃を取り扱う際は必ず保護（耐切創）手袋を装着してください。 刃先に触れてけがに至るおそれがあります。

- ① 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外してください。
- ② 付属のコンビボックススパナと6角棒スパナ（4mm）を用意し、保護（耐切創）手袋を装着してください。
- ③ 刈刃を正しく取り付けやすくなるので、右図のように機体を逆さまにしてください。
- ④ 刈刃の正しい取り付け方向を確認してください。右図の【刈刃の正しい取り付け方向】を参照してください。



【刈刃の正しい取り付け方向】

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業前に刈刃取付用ナットと刃押さえ金具の摩耗を点検し、すり減り始めたら交換してください。 刈刃が脱落して体に接触し、死亡または重傷に至るおそれがあります。



新品の刃押さえ金具と
刈刃取付用ナット



すり減った刃押さえ金具と
刈刃取付用ナット

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 刈刃を取り付ける際は、付属のコンビボックススパナまたはトルクレンチで締め付けてください。他の工具は使わないでください。 刈刃取付用ナットが破損したり、締め付け不足になるおそれがあります。

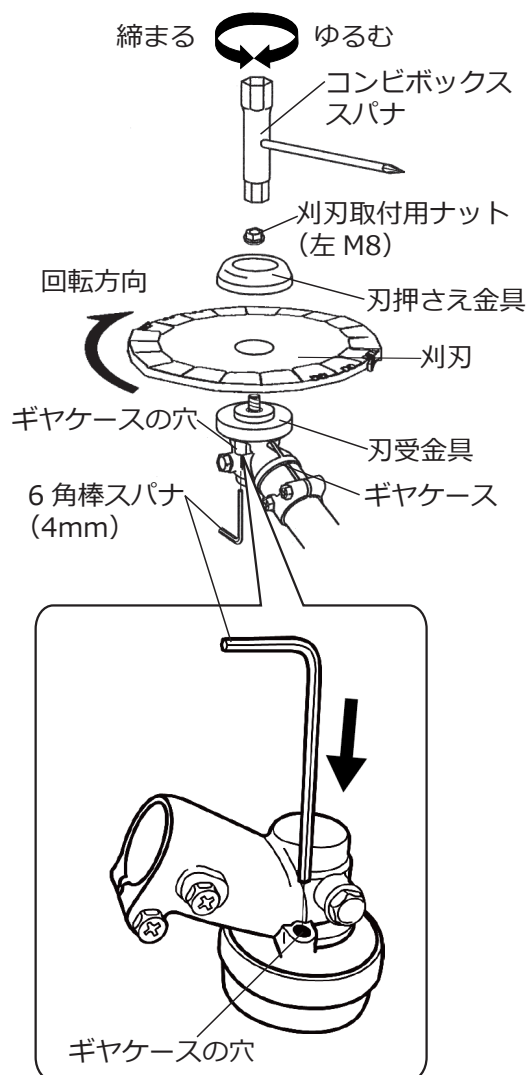
お知らせ

- 刈刃取付用ナットは左ネジです。締め付け・取り外しの際は注意してください。

付属の六角棒スパナ(4mm)とコンビボックススパナを用意してください。ギヤケースの穴の位置を確認してください。また、作業の前に保護(耐切創)手袋を装着してください。

■ 刈刃の取り付け

- ① 刃受金具の凸部と刈刃の取付穴を合わせてください。
- ② 刈刃、刃押さえ金具、刈刃取付用ナットの順に取り付けてください。
- ③ ギヤケースの穴と刃受金具の穴の位置を合わせ、六角棒スパナを差し込み刃受金具を回らなくしてください。
- ④ コンビボックススパナで刈刃取付用ナットを左に回して、確実に締め付け刈刃を固定してください(締め付けトルク 10 ~ 15N・m)。
- ⑤ 刈刃の締め付けが終わったら六角棒スパナを必ず外してください。



■ 刈刃の取り外し

- ① 刈刃カバーを装着してください。
- ② ギヤケースの穴と刃受金具の穴の位置を合わせ、六角棒スパナを差し込んでください。
- ③ 刃受金具を回らなくしてから刈刃取付用ナットを、コンビボックススパナで右に回してゆるめてください。
- ④ 刈刃取付用ナットと刃押さえ金具を外してください。
- ⑤ 刈刃を外してください。
- ⑥ 六角棒スパナを必ず外してください。

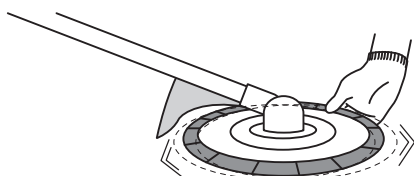
お知らせ

- 刈刃取り付けに必要な上記部品、コンビボックススパナ、六角棒スパナ(4mm)、刈刃取付用ナット、刃押さえ金具、刃受金具、刈刃は付属品袋に入っています。

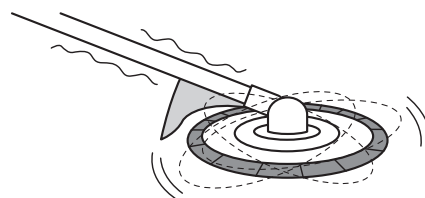
⚠ 注意



- 刈刃の取付穴が刃受金具の凸部から、ずれていないことを確認してください。ずれている場合は刈刃を取り付け直してください。
正しく取り付けしていないと異常な振動が発生し、けがや本製品の故障に至るおそれがあります。
- 刈刃を手で回し、刈刃のブレがないことを確認してください。
刈刃がブレていると異常な振動の発生や、刈刃の締め付けがゆるむなどして、けがや本製品の故障に至るおそれがあります。



締付不足で、つかんで揺らすとガタガタする場合



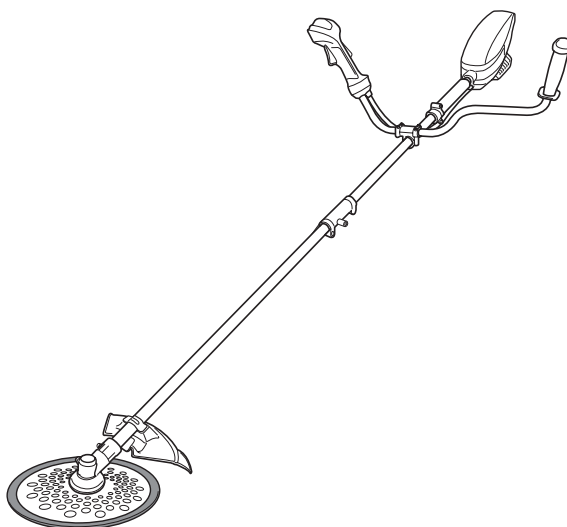
偏芯していて、回転させるとグラグラする場合

(7) 組み立て完了

これで本製品の組み立ては完了です。図のように正しく組み立てられているか、もう一度確認してください。

お願い

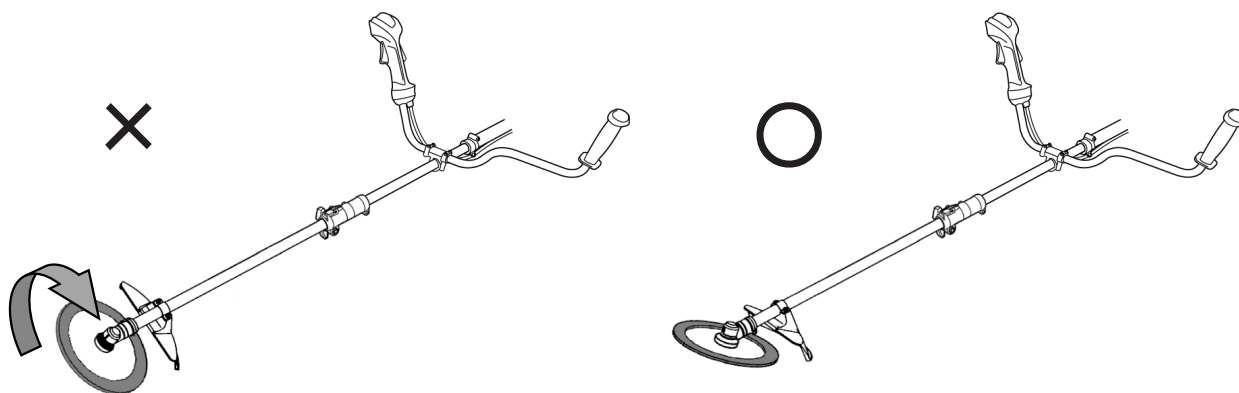
- 組立後、締付ノブ・ナットなど、しっかりと締め付けられているか確認してください。



⚠ 注意



- 組み付け後の作業機が下記のように回転した状態の場合、12 ページの「(3) 作業機の組み付け・分割」を参照し、組み付け直してください。
作業機が外れてけがに至るおそれがあります。



3. 作業の準備

お願い

- 事故やけがに備え救急箱や止血道具（タオルなど）を携行してください。応急処置が行えず、傷が悪化するおそれがあります。なお、最寄りの消防本部・消防署で実施している救命講習の講習会に参加して、応急手当の知識と技術を身に付けておくことを推奨いたします。
- 万一の事故に備えて緊急時に連絡できるようにしてください。また、家族などにも緊急連絡先（医療機関・消防署など）がわかるようにしてください。携帯電話などの緊急時の連絡手段の携帯を推奨いたします。

(1) 作業者の服装と保護具の装着

作業に適した服装をして必要な保護具を装着してください。詳細は4ページの「正しい服装の一例」を参照してください。

警告



- 服装は長袖・長ズボンなどを着用し、体が露出する衣服は避けてください。シャツの裾などは必ずズボンの中に入れて、作業中に引っ掛かることのないようにしてください。また、必ず保護具を装着してください。

作業に適した服装または保護具を装着しないと、死亡または重傷に至るおそれがあります。

(2) 肩掛バンドの調整と使い方

注意



- 肩掛バンドは消耗品です。装着前に切れ、ほつれなどの損傷がないことを確認してください。損傷などがあれば交換してください。

損傷があるものを使用すると、本製品が外れてけがに至るおそれがあります。

1) 肩掛バンドの装着と調整

- ① 肩掛バンドを図1のように装着してください。
- ② 図2のように、肩掛バンドの引掛金具を本製品のハンガーに引っ掛けてください。
- ③ 本製品を体の右側に吊り下げ、図3のように刃が地面と平行となるように、バンドの長さを調整してください。



図1

* 引掛金具の操作

板バネを押して、肩掛バンドの引掛金具から本機を脱着してください。

図2

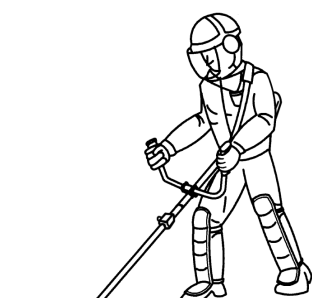
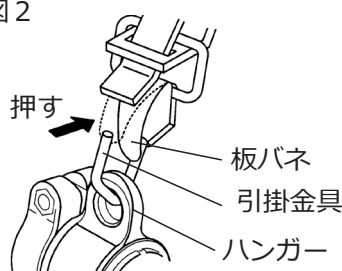


図3

2) 緊急離脱装置の使い方

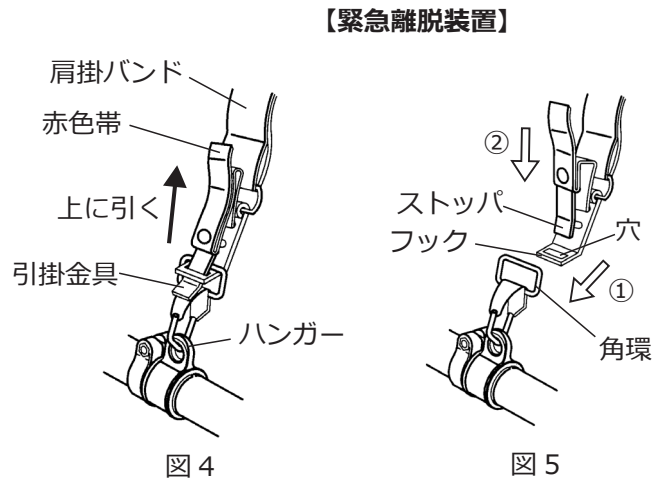
肩掛バンドの緊急離脱装置は図4のように赤色帯を上引くと、本製品が肩掛バンドから離れます。作業の前にバッテリーを取り外した状態で、安全な場所で操作の練習をしてください。

※緊急離脱装置の組み立て方

図5の矢印①の方向からフックを角環に通し、矢印②の方向からストoppaをフックの穴に挿入してください。

お願い

- 緊急離脱装置は、火災などの緊急時に体から本製品を離す必要がある場合に使用してください。緊急時以外は使用しないでください。

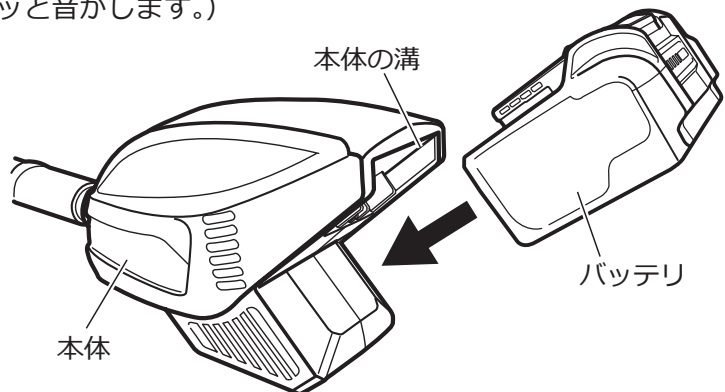


(3) バッテリーの取り付け・取り外し

■ バッテリーの取り付け方

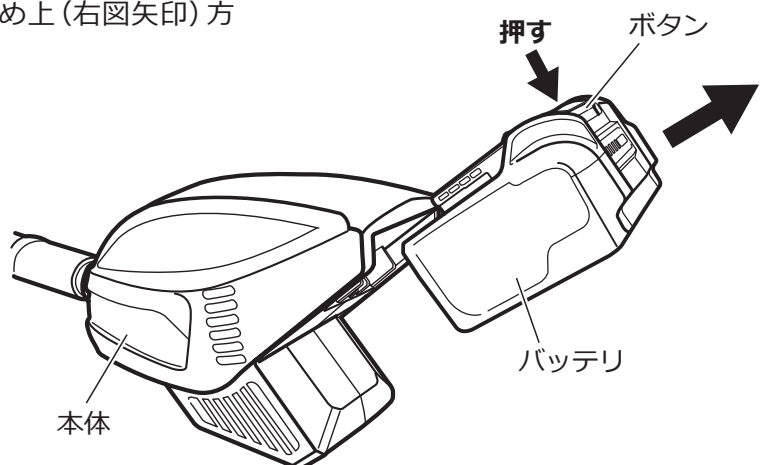
バッテリーを本体の溝に合わせ、奥まで挿入してください。

※ 奥まで確実に挿入してください。(カチッと音がします。)



■ バッテリーの取り外し方

バッテリー正面のボタンを下げながら、斜め上(右図矢印)方向にスライドさせて取り外してください。



(4) バッテリーの充電

お願い

- 付属の充電器は、マルヤマバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。

① 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。

※ 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。

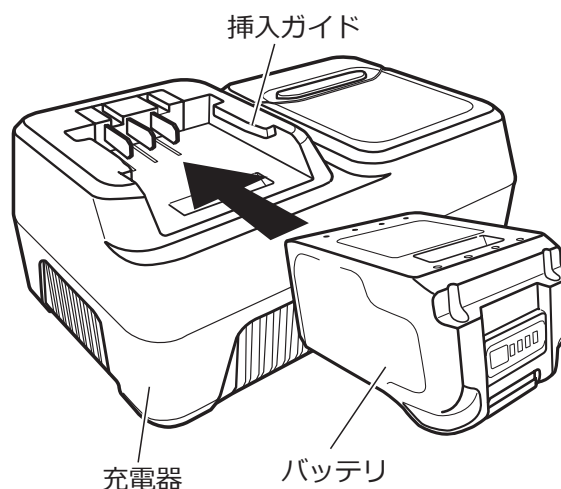
② バッテリーを充電器の挿入ガイドに合わせ、一番奥まで挿入してください。

※ バッテリーを挿入すると、充電表示ライトが「青」に変わり、充電を開始します。

(バッテリー容量 0 ~ 80%未満は点滅、80%以上は点灯)

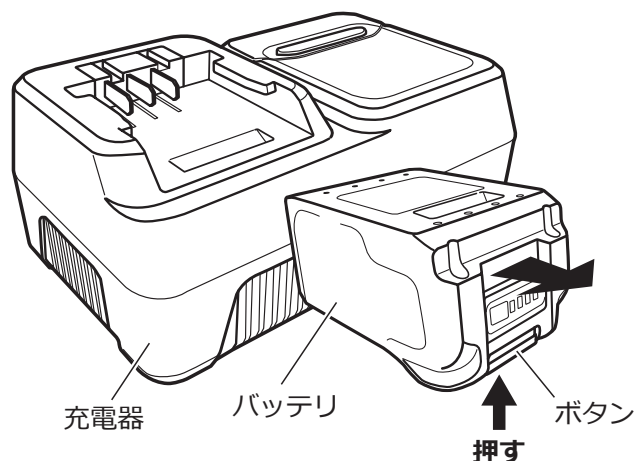
③ 充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。

※ 充電時間は周囲温度 (10℃ ~ 40℃) やバッテリーの状態 (新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど) により変動します。



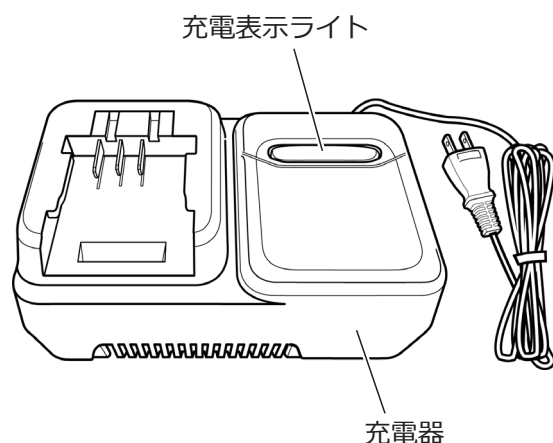
④ バッテリーのボタンを押しながらバッテリーを充電器から抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

※ 充電完了後の約 5 分間は、充電器の冷却ファンが動いています。



お知らせ

- 充電時間は約 1 時間です。



充電表示ライト		表示内容
緑	点滅 ■ ■ ■	充電前「緑」点滅 電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態です。
黄	点滅 ■ ■ ■	待機中「黄」点滅 バッテリーが高温です。バッテリーの温度が下がると、自動的に充電を開始します。
青	点滅 ■ ■ ■	充電中「青」点滅 バッテリー容量 0 ~ 80%未満を示します。
青	点灯 ■■■■■	充電中「青」点灯 バッテリー容量 80%以上を示します。
緑	点灯 ■■■■■	充電完了「緑」点灯
赤	早い点滅 ■ ■ ■ ■ ■	充電不可「赤」遠い点滅 バッテリーの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。

【充電表示ライトについて】

お知らせ

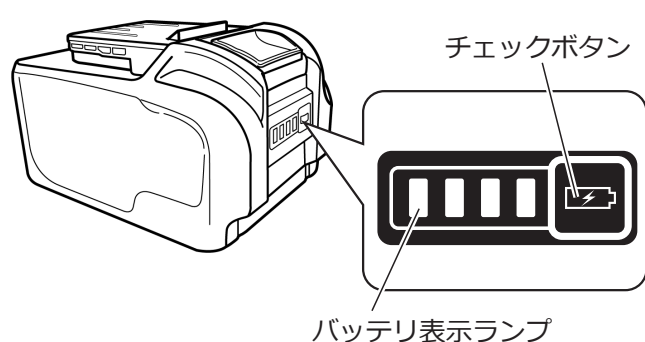
- 使用直後のバッテリーや、直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと、充電表示ライトが「黄」の点滅を繰り返す場合があります。このような場合は、バッテリーの温度を下げてから充電してください。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 周囲温度により充電時間が変動します。
- 下記のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられます。ご購入の販売店へご相談ください。
 - × 充電器の電源プラグを 100V の電源に差し込んでも、充電表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、充電表示ライトが「青」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、充電表示ライトが「青」に点滅または点灯した後、2～3 時間以上たっても充電が完了しない。(充電表示ライトが「緑」に変わらない。)
- 充電時間は、周囲温度 (10℃～40℃) やバッテリーの状態に応じて変動します。

■ バッテリーを長持ちさせるには

- ① 作業機の力が弱くなってきたと感じたら、使うのをやめ充電してください。
- ② 満充電したバッテリーを、再度充電しないでください。
- ③ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ④ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、少し冷やしてから充電してください。

(5) バッテリー残容量の見方





バッテリーには残容量表示機能が付いています。チェックボタンを押すと、バッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ : 点灯 ▨ : 点滅 □ : 消灯	
■ ■ ■ ■	75% -100%
■ ■ ■ □	50% -75%
■ ■ □ □	25% -50%
■ □ □ □	0% -25%
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常です。




(6) 運搬の仕方

本製品を作業場所まで運ぶときはバッテリーを取り外し、下記の注意事項を守ってください。

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 自転車やバイクなど、2輪車での運搬は不安定で危険のため、決して行わないでください。落下や接触などにより自身や他人がけがに至るおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ バッテリーは取り外してください。刈刃が急に動き出すおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 金属製の刈刃には刈刃カバーを付けてください。刈刃に接触し、けがに至るおそれがあります。■ 軽トラックなどの車両で運搬する場合は、本製品を確実に固定してください。落下や接触などによりけがに至るおそれや、他人に傷害を与えるおそれがあります。



(7) 作業現場の整備

作業現場にある障害物は事前に取り除いてください。

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 壊れたフェンスの近くでは作業しないでください。針金類は回転する刈刃に絡まるとムチのようにはねまわり、体に接触すると死亡または重傷に至るおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 雑草刈りを行う現場に落ちているゴミ(空缶、空ビン、鉄クズ、針金、ひも、粗大ゴミなど)や砂利、小石など、作業の障害になるものを取り除いてください。これらを取り除かないと飛散したり、絡みついた針金などが跳ね返ったりして事故や重傷に至るおそれがあります。■ 作業現場に電線管・水道管やガス管などの埋設物や、移動できない障害物がないことを作業前に十分に確かめてください。撤去できない障害物などがある場合は、目印を付け近づかないようにしてください。障害物の近くで作業すると事故や重傷に至るおそれがあります。

(8) 作業計画

作業を行う前にあらかじめ作業場所、作業手順(作業の準備・実作業・後片付けおよび日程などを含む)、緊急時の対応、作業者の配置、合図の方法などを決めた作業計画を立ててください。また、必要に応じて事前に打合せを行うなどにより、関係者に周知するとともに、その指揮する者を選んでください。

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 作業計画を立て遵守してください。長時間の振動への曝露により振動障害に至るおそれや、疲労の蓄積を招くおそれ、さらに緊急時の対応が遅れ被害が拡大するおそれがあります。

4. 始業点検

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。作業前に点検を行うことにより、事故や故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検のため、下記の一覧表を参照して必ず実施してください。もし、ご自身での点検に不安のある方や交換・修理が必要な場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

始業点検一覧表

点 検 項 目		処 置	参 照 先
刈刃	割れ、曲がり、ヒビ、カケ、摩耗がないか	研磨・目立て または交換	16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」 37 ページの「(2) 刈刃の点検」
	取付状態に異常がないか	正しく組み立てる	16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」
ギヤケース	刃押さえ金具類に摩耗がないか	交換	16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」 36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」
	刈刃取付用ナット(ボルト)にゆるみ、摩耗がないか	増し締め または交換	16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」 36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」
	刃物軸の動きが悪くないか	グリス注油 または修理	36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」
	ギヤケースにヒビ、損傷がないか	交換	
メインパイプ	メインパイプに曲がりやひび割れがないか	交換	
飛散防護カバー	取付用ボルトのゆるみがないか	増し締め	12 ページの「(2) 飛散防護カバーの取り付け」
	破損がないか	交換	12 ページの「(2) 飛散防護カバーの取り付け」
ハンドル	取付用ボルト(ネジ類)にゆるみがないか	増し締め	11 ページの「(1) ハンドルの組み立て」
	ハンドルの挿入は十分か	正しく組み立てる	11 ページの「(1) ハンドルの組み立て」
	変形または破損がないか	交換	

点 検 項 目		処 置	参 照 先
グリップ	グリップに劣化または破損がないか	交換	
肩掛バンド	ほつれ、切れがないか	交換	20 ページの「(2) 肩掛バンドの調整と使い方」
バッテリー	充電されているか	充電 または交換	22 ページの「(4) バッテリーの充電」
その他各部	各部にゆるみ、組み立てに異常がないか	増し締め 正しく組み立てる	

⚠ 警 告

⚠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 始業点検一覧表に基づき点検を実施し、必要な場合は処置を施してください。 必要な処置をしないと死亡または重傷に至るおそれがあります。 ■ 刃刃の点検をして損傷（刃刃の割れ、過熱による変色、チップのトビ、カケ）のある刃刃は交換してください。 刃刃の状態が悪いものを使用すると、刃刃の破損や飛散により死亡事故や重傷に至るおそれがあります。また、異常振動による疲労の蓄積や故障（メインパイプの折れなど）に至るおそれがあります。 ■ 刃押さえ金具と刃刃取付用ナットは作業時間とともに摩耗します。特に石や砂などの多い場所での作業では摩耗が早まります。作業前に刃刃取付用ナットと刃押さえ金具の摩耗を点検し、すり減り始めたら交換してください。 すり減ったものを使用すると刃刃が脱落して体に接触し、死亡または重傷に至るおそれがあります。 	
---	---	--

⚠ 注 意

⚠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 刃刃の点検をして目立ての状態が悪い刃刃は、研磨・目立てをご購入の販売店に依頼してください。 刃刃の切れ味が悪いと体の疲労につながります。また、バッテリーなど各部への負荷が過大となり故障の原因となります。
---	---

5. 始動と停止

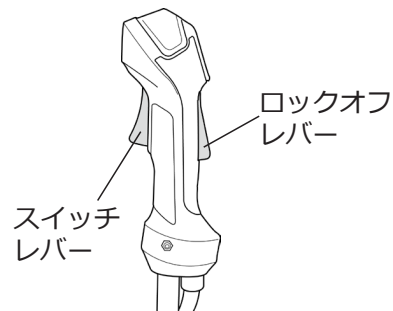
警告



- 電源ボタンを操作する際は、刈刃が地面や他のものに接触していないことを確認の上、十分に注意して行ってください。
刈刃に接触物が絡み飛散したり、刈刃に接触するなどして重傷に至るおそれがあります。

(1) 始動の前に

- ① バッテリーが充電されていることを確認してください。(充電の仕方は、22 ページの「(4) バッテリーの充電」を参照してください。)
- ② 右図のように、(スイッチレバーが握られていない) 状態となっていることを確認してください。



(2) 始動・運転

お知らせ

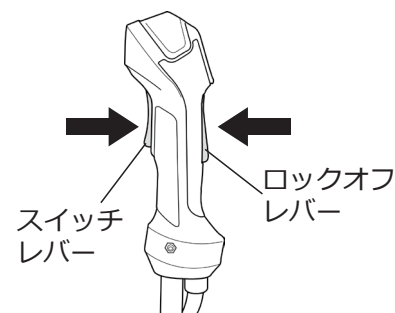
- ご使用にならないときは電源を OFF にしてください。
- 電源が ON のまま、操作を行わない状態で約 1 分間放置すると、運転を停止します。再始動の場合は電源ボタンを操作し、再度 ON にしてください。

1) 始動の準備

- ① 刈刃取付用ナットにゆるみがないか確認してください。ゆるみがあれば保護(耐切創)手袋を装着し、16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」を参照して確実に締め付けてください。
- ② 飛散防護カバーが正規の位置に取り付けられていることを確認してください。
- ③ 各部のネジを点検してください。ゆるみのある個所は増し締めをしてください。
- ④ 周囲 15m の範囲内(危険区域)に人や動物がいないかなどの周囲の安全を確認してください。

2) 始動

- ① 電源ボタンを長押しして、電源を入れてください。
- ② 速度調整ボタンを押して刈刃の回転速度を調整してください。速度調整ボタンを押すたびに回転速度が変わり、速度ランプが点灯します。
※ 低速(ランプ1個) → 中速(ランプ2個) → 高速(ランプ3個)
→ 低速(に戻る)
- ③ ロックオフレバーを握りながら、スイッチレバーを握ってください。刈刃が回転します。

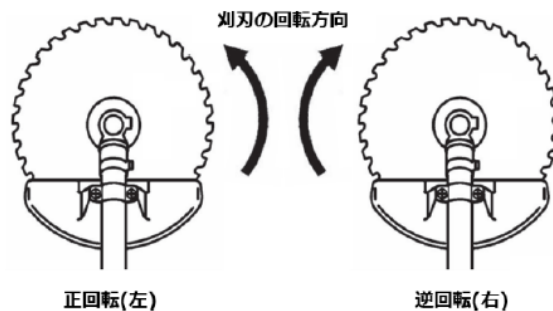


3) 逆回転

速度調整ボタンを長押しすると、刈刃を逆回転させることができます。
逆回転させることで、草の絡まりやつまみを取り除くことができます。

お知らせ

- 逆回転は約 5 秒で自動停止します。
- 逆回転は、自動で正回転（左回転）に戻りません。
- 正回転（左回転）に戻すには、速度調整ボタンを長押ししてください。



⚠ 注意

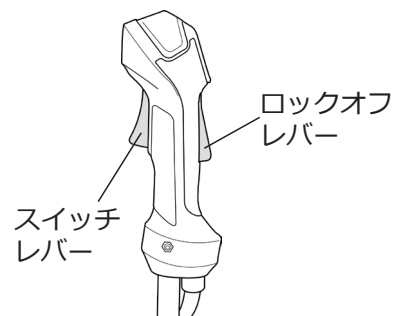


- 逆回転で作業を行わないでください。
- 草の絡まりが多い場合、逆回転で取り除けないことがあります。その際は作業を中断し、バッテリーを取り外してから草を取り除いてください。

(3) 運転の停止

1) 草刈り作業の停止

- ① スイッチレバーを離すと、刈刃の回転が停止します。



- ② 電源ボタンを長押しして、電源を切ってください。

電源が ON のまま、操作を行わない状態で約 1 分間放置すると、自動で電源が OFF になります。



6. 刈払作業

⚠ 注意



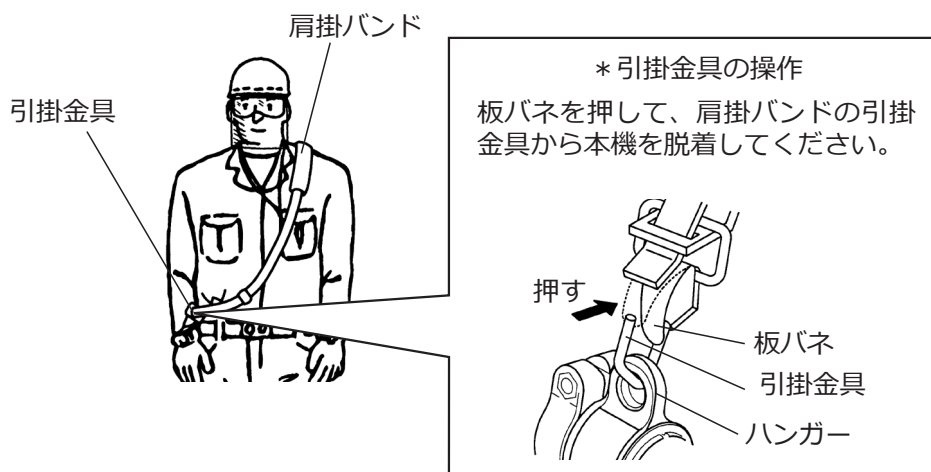
- 手足や体を冷やさない服装で作業してください。
手足や体が冷えると振動障害に至るおそれがあります。
- 高温や炎天下での長時間の連続作業を避け、定期的に休憩を取り、適度な水分補給を行ってください。
熱中症など、体に影響を及ぼすおそれがあります。

お願い

- 安全作業にとって効果的であるため、作業開始前に準備体操を行ってください。

(1) 刈払機の保持

- ① 作業を始める前に、刈刃カバーを外してから作業をしてください。
- ② 刈刃が停止していることを確認してから本製品のハンガーに肩掛バンドの引掛金具を引っ掛けてください。



⚠ 注意



- 本製品が体の右側にくるように持ってください。
左側で持つと、けがに至るおそれがあります。



(2) 刈刃の回転・停止

注意



- 本製品に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、直ちに作業を中止してご購入の販売店に修理を依頼してください。
異常のあるまま使用すると、事故に至るおそれがあります。

1) 回転速度の目安

- 回転速度は下記の表を参照してください。
- 回転速度の変更は、刈刃が停止していることを確認してから行ってください。
- 作業時の回転速度と運転時間は、表を目安にしてください。

＜刈刃の種類による回転速度目安＞

刈刃の種類	回転速度
金属刃	低速 / 中速 / 高速

＜標準付属の刈刃装着時＞

運転時間	低速	中速	高速
36 V 刈払機	135 分	70 分	45 分

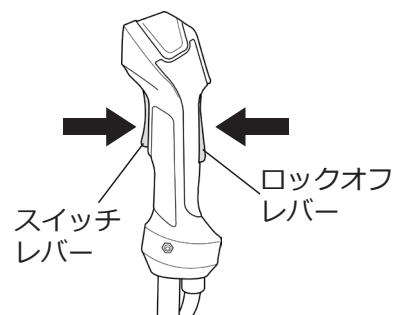
※ 標準付属の刈刃をつけた状態の、無負荷運転時間（最大値）です。作業時間は、作業対象、作業方法、作業環境などの条件により異なります。

2) 刈刃の回転

- ① 電源ボタンを長押しして、電源を入れてください。
- ② 速度調整ボタンを押して刈刃の回転速度を調整してください。速度調整ボタンを押すたびに回転速度が変わり、速度ランプが点灯します。
※ 低速（ランプ 1 個）→ 中速（ランプ 2 個）→ 高速（ランプ 3 個）
→ 低速（に戻る）



- ③ ロックオフレバーを握りながら、スイッチレバーを握ってください。刈刃が回転します。



3) バッテリ残量の低下

速度ランプが点滅したら、保護機能が働いています。以下の作業を行ってください。

- ・スイッチレバーを握り直す
- ・電源を一度切る
- ・バッテリーを充電または交換する

<保護機能>

■ 過負荷保護機能

作業時に異常な負荷を感知すると、本機は自動停止して電源ランプの赤が点灯します。スイッチレバーを放し、バッテリーを取り外してから過負荷の要因を取り除いてください。

■ 過放電保護機能

バッテリー残量が少なくなると、本機は自動停止して電源ランプの赤が点滅します。スイッチレバーを操作しても本機が動作しない場合はバッテリーを充電してください。

■ 発熱保護機能




本機やバッテリーが熱くなると、本機は自動停止します。再始動前に十分に冷ましてください。



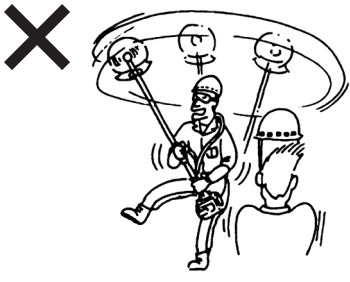
4) 刃の停止

- ① スイッチレバーを離すと、刃の回転が停止します。
- ② 作業後は必ず電源を切ってください。



(3) 刃の作業

 危険	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周りに人や動物がいないことを十分に確認してください。万一、すぐ近くに人や動物がいることに気が付いたときは、決して動かないでください。まず刃を停止してから対応してください。周囲に人や動物がいる状態で刃が回転している本製品を持ったまま動くと、回転する刃に接触し、死亡または重傷事故に至ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業中の作業者を呼ぶときは、離れた位置から合図してください。笛などを使用すると効果的です。作業中に作業者が気付きにくい方向、特に後方から接近することは非常に危険です。作業者が接近する人に気付かず、刃が回転している本製品を持って振り向くと、接近した人を死傷させます。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 飛散防護カバーをずらす、取り外すことはしないでください。飛散してきた石などで、重傷に至るおそれがあります。 ■ 本製品をむやみに振り回したり、刃を膝より高く上げての作業はしないでください。刃が体に近くなり、飛散物や刃の接触により重傷に至るおそれがあります。 <div style="text-align: right;">  </div>

警告

- 近くに子供がいる場合は、いたずらなどに注意してください。
電源が入ったまま本製品を置いて目を離すと、おもちゃと間違え大人の真似をして子供が重傷に至るおそれがあります。
- 安全のため、必ず必要な保護具を装着して作業を行ってください。
刈刃との接触や刈刃からの飛散物、本製品からの作業音により、視覚障害、聴覚障害、けがなどの重傷に至るおそれがあります。
- 作業を中断するときは必ずスイッチを切ってください。
刈払作業を中断した際、スイッチレバーと身体などの接触により刈刃が回り出すことがあります。意図しない刈刃への接触や飛散物により事故に至るおそれがあります。
- 刈刃にひもや草がからんだ場合は、電源を切ってから除去してください。
電源を切っていないと、ひもなどを除去した瞬間に刈刃が回りだし、重傷に至るおそれがあります。
- 木などに刈刃がはさまった場合は、電源を切ってから木などを押して、刈刃がはさまっている部分を広げて外してください。
電源を入れたまま無理に引き離すと、外れた瞬間に刈刃が回り出し重傷に至るおそれがあります。
- 刈刃が木などへの食い込みから外れたら、始動する前に刈刃を点検してください。損傷のある場合は交換してください。
損傷がある刈刃を使用すると、重傷に至るおそれがあります。
- 刈刃が石などの硬いものに衝突したときは、直ちに電源を切って刈刃を点検し、損傷のある場合は交換してください。
損傷がある刈刃を使用すると、重傷に至るおそれがあります。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転落や滑落により重傷に至るおそれがあります。
- 火災などの緊急時に体から本製品を離す必要がある場合は、緊急離脱装置の赤色帯を上を引き上げてください。本製品が肩掛バンドから外れて落下しますので、十分注意してください。
刈刃が体に接触すると死亡または重傷に至るおそれがあります。



注意

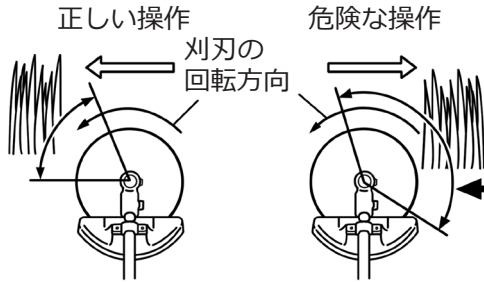
- 刈刃で打つ、たたくなどの方法で刈払作業をしないでください。
刈刃や本製品の破損に至るおそれがあります。
- 本製品の刈刃を石などの硬いものに、何度も衝突させるなど繰り返し衝撃を与えないでください。
刈刃やギヤケース、他の部品などの損傷に至るおそれがあります。

- 丈の高い草や密生した草を刈るときは、手前から少しずつ刈ってください。
一度に刈り払うとハンドル固定具に力が集中し、メインパイプおよびハンドルの破損に至るおそれがあります。

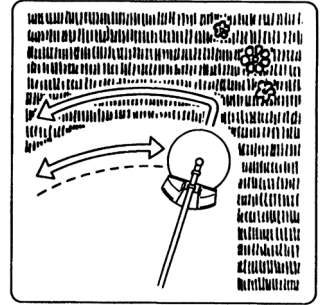


⚠ 警告

- 金属刃装着時、左から右への操作は行わないでください。
【キックバック】が起き、死亡または重傷に至るおそれがあります。



【キックバック】
この範囲で刈刃が硬いものに当たると反動で刈刃が予期しない方向へはねかえされます。



⚠ 注意



- 安定した作業姿勢の保持が困難な急傾斜地では滑りやすく危険なため、本製品を使用しないでください。
足を滑らせてけがに至るおそれがあります。



- 障害物に注意し、刈刃が当たらないようにしてください。
飛散物によりけがに至るおそれや、刈刃の損傷に至るおそれがあります。

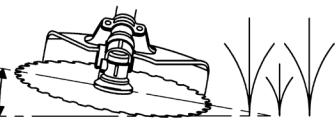
- ① 作業姿勢は、両足を適当な間隔に開き、右足を前に出して体重の移動が容易で安全な姿勢をとってください。
- ② 足の運びは、常に右足を先に出し、左足は右足の後ろに引き寄せスリ足で進んでください。
- ③ 刈払作業の操作は手(腕)の力だけで行わず、体全体、とくに腰でバランスをとって行ってください。
- ④ 刈刃の回転方向は左回転です。そのため、右側から左側へ寄せるようにして刈ってください。
- ⑤ 緩やかな傾斜地で本製品を使用する場合は、上下方向でなく、横方向(等高線方向)に作業してください。刈った草が谷側に寄るため、効率よく作業を行えます。



お知らせ

- 刈刃は地面に対し 10°くらい左下がりにして腰を中心にして、刈刃を地面に平行に動かして刈る方法が基本的な方法です。

地面に対して 10°
くらい左下がり



(4) 作業後

1) 作業終了時

- ① スイッチレバーから手を離してください。
- ② 刈刃が止まったことを確認して、電源を切ってください。
- ③ 保護（耐切創）手袋を装着して、刈刃の掃除、損傷有無の点検をしてください。刈刃に異常がない場合は刈刃カバーを付けてください。異常のある刈刃は本製品から外して廃棄処分してください。

2) 保管

刈刃カバーを付け、保管してください。

お願い

- 本製品を長期間（1か月以上）保管する場合は、38ページの「8. 長期保管」を参照してください。

7. 点検・整備

お願い

- 本製品を安全にご使用いただき、また長持ちさせるために定期的に点検を行ってください。
- 点検・整備を行う際は、必ず電源をOFFにし、バッテリーを抜いてください。
- 安全にご使用いただくために年に1回、ご購入の販売店にて点検を行ってください。

警告



- 取扱説明書に記載されていない整備・調整は、ご購入の販売店に依頼してください。正しい整備ができず、事故に至るおそれがあります。
- 点検で不具合がある、不調の場合は整備を行い正常な状態になってから使用してください。必要な処置をしないと、本製品の破損や部品脱落などにより死亡事故や重傷に至るおそれがあります。
- 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。間に合わせのものや粗悪なものを使用すると、早期破損やゆるみ、異常振動などにより、事故やけが、本製品の故障に至るおそれがあります。

注意



- 作業に関係がない人を近づけないでください。刈刃に接触するなどにより、けがに至るおそれがあります。



- 本項に記載の点検・整備項目はすべて行ってください。行わないと本製品が故障に至るおそれがあります。
- 本製品の点検・整備を行うときは、周囲を整理してから行ってください。点検整備が適切に行えず、本製品の不具合の発生に至るおそれがあります。

■ 定期点検

下記の使用時間を目安に定期的に点検を実施してください。

お願い

- ご自身での点検に不安のある方は、ご購入の販売店にご相談ください。

点検項目		使用時間	参照タイトル
ギヤケース	刃受け金具内部のゴミ除去	刃物交換時または必要に応じて	36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」
	グリス給油	20 時間ごと	36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」

警告



- **点検・整備は必ずバッテリーを外してから行ってください。**
突然の始動により、重傷事故に至るおそれがあります。

■ 整備

作業手順に従って点検を実施してください。

お願い

- この取扱説明書に記載された整備であっても専門知識や技能が必要となる場合があります。不安のある方はご購入の販売店にご相談ください。

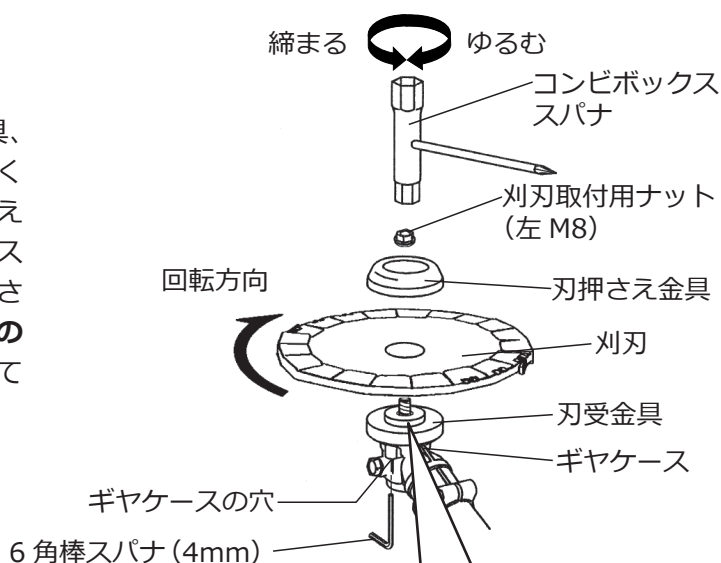
(1) ギヤケースの点検・整備

⚠ 注意

	<p>■ (1) ギヤケースの点検・整備は、ギヤケースが冷えてから行ってください。 冷える前に行うと、やけどに至るおそれがあります。</p>
	<p>■ 作業時間とともに、刃押さえ金具は摩耗します。石や砂などの多い場所での作業では摩耗が早まります。作業前には必ず刃取付用ナットと刃押さえ金具の摩耗を点検し、すり減り始めたら交換してください。</p> <p>■ グリス注入は指定時間ごとに行ってください。 行わないとギヤケースの破損のおそれがあります。</p>

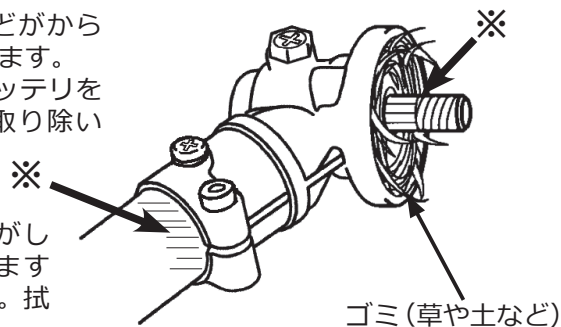
作業中にギヤケースにひもなどが絡みついたり、刃受金具の内側にゴミが詰まったりすると、ギヤケースの故障につながります。

- ① 刃交換時、また作業中随時、刃押さえ金具、刃、刃受金具を外し、ゴミを取り除いてください。また、刃取付用ナットと刃押さえ金具の摩耗を点検し、刃取付用ナットがすり減り始めたら、刃取付用ナットと刃押さえ金具を交換してください(16 ページの「(6) 刃の取り付け・取り外し」を参照してください)。

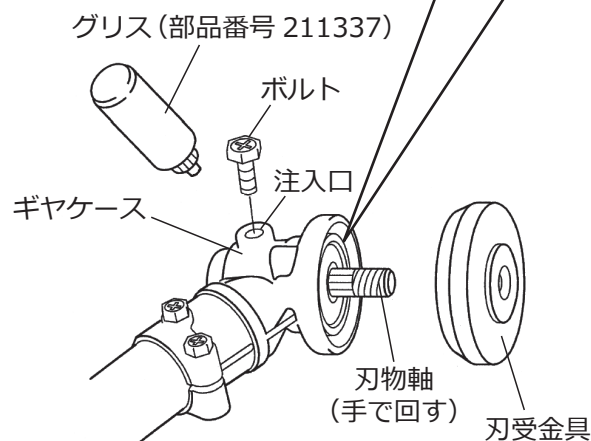


刃受金具の内部に草などがからみついていることがあります。必ず電源を OFF にしバッテリーを取り外した後、ゴミを取り除いてください。

※部分に油分(グリス)がしみ出てくる場合がありますが、異常ではありません。拭き取ってご使用ください。



- ② 図のようにボルトを外し、刃物軸を手で回しながら耐熱用のリチウム系グリスを注入口の口元まで注入して、ボルトを元通りに締め付けてください。
(20 時間使用するごとに注入)



(2) 刈刃の点検



- (2) 刈刃の点検は、保護(耐切創)手袋を装着して行ってください。
刈刃の刃先に触れ、けがに至るおそれがあります。

- 作業開始前と作業終了後には、必ず刈刃を点検してください。
- 摩耗した刈刃は研磨、目立てをし、損傷(刈刃の割れ、過熱による変色、チップのトビ、カケ)のある刈刃は新品(当社純正部品)と交換してください。
- 偏芯した場合は刈刃、刃受金具(当社純正部品)とも交換してください。

(3) ボルト・ネジの点検

各部のボルト・ネジのゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。また、摩耗していたら新品と交換してください。

8. 長期保管

- 本製品を長期間（1 か月以上）保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。

本製品の汚れを落とし、34 ページの「7. 点検・整備」に記載の下記の（1）～（3）を行ってから保管してください。なお、点検・整備ができない場合は、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。また、損傷箇所がある場合は、全て当社指定の純正部品を使用して、必ず修理してから保管してください。

7. 点検・整備

（1）ギヤケースの点検・整備

（2）刈刃の点検

（3）ボルト・ネジの点検

注意



- 保管の際は、バッテリーを本機から取り外して保管してください。
バッテリーを装着したまま保管すると、発火するおそれがあります。



- 刈刃に刈刃カバーを付けて保管するか、刈刃を取り外して保管してください。
保管方法を誤ると、けがに至るおそれがあります。

お願い

- 保管は湿気の少ない場所でチリやゴミが付着しないようにしてください。
- 保管時は、バッテリーを充電器から外して保管してください。
※ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合は、リチウムイオンバッテリーを充電してから保管することをおすすめいたします。

9. 故障と対策

☆印については、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

(1) 始動しないとき

故障原因	対策
スイッチの不良	交換 ☆
配線の断線	交換または修正 ☆
モータ断線	交換 ☆
モータ燃損	交換 ☆
バッテリーの電圧低下	充電または交換 22 ページの「(4) バッテリーの充電」の項目を参照してください。

(2) 始動するが回転が上がらなかつたり、出力が十分でないとき

故障原因	対策
バッテリーの電圧低下	充電または交換 22 ページの「(4) バッテリーの充電」の項目を参照してください。
ギヤケースにゴミが詰まっている。	ギヤケースのゴミを取り除く。 36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」の項目を参照してください。

(3) 回転は正常だが、切れ味が悪いとき

故障原因	対策
刈刃が摩耗している。	刈刃を新しいものに取りかえる。 37 ページの「(2) 刈刃の点検」の項目を参照してください。
回転方向に対し刈刃の向きが逆になっている。	正常な回転方向に刈刃を付けかえる。 16 ページの「(6) 刈刃の取り付け・取り外し」の項目を参照してください。

(4) 運転中、回転が次第に下がる時

故障原因	対策
バッテリーの電圧低下	充電または交換 22 ページの「(4) バッテリーの充電」 の項目を参照してください。
ギヤケースにゴミが詰まっている。	ギヤケースのゴミを取り除く。 36 ページの「(1) ギヤケースの点検・整備」 の項目を参照してください。

(5) 充電不具合のとき

故障内容	故障原因	対策
充電しない	バッテリーの異常	交換 ☆
	コネクタの接続不良	正しく接続 ☆
	配線の断線	交換または修正 ☆
容量が回復しない	充電時間の不足	充電 22 ページの「(4) バッテリーの充電」 の項目を参照してください。
	バッテリーの異常	交換 ☆
	充電器の異常	交換 ☆
表示ライトが点灯しない、または点滅する	表示ライトが点灯しない	交換 ☆
	バッテリーを挿入しても、表示ライトが「緑」点滅のまま(バッテリー、配線の異常)	バッテリー挿入しなおし 改善しなければ交換 ☆
	表示ライトが「黄」の点滅を繰り返す	バッテリー温度を下げる
	表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す	バッテリー交換 ☆

お願い

- 上記についてお調べの上で、故障が直らないときは、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

10. 転売・譲渡・廃棄

転売・譲渡

- 本製品を転売・譲渡する場合は、取扱説明書も同時に譲渡してください。取扱方法についてよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。
- 転売先や譲受者に、製品の状況を説明してください。部品が不足している場合や修理が必要な場合は、修理をするように指導してください。
- 保証書も同時に譲渡してください(保証期間内の場合)。

廃棄

- お住まいの地域の自治体の指導に従ってください。

お願い

- **バッテリーの交換・廃棄に際してはリサイクルにご協力ください。**
本製品のバッテリーはリチウムイオンバッテリーを使用しています。このバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。
- **ご使用済みのバッテリーは、「充電式バッテリーリサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、ご購入の販売店または弊社問い合わせ先にご相談ください。**
- **リサイクルのときはバッテリーを分解しないでください。**
バッテリーの端子部にテープを貼る、もしくはポリ袋に入れるようにしてください。



リチウムイオンバッテリーのリサイクルマークです。

Li-ion



弊社は一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。
使用済みのバッテリーのリサイクルにご協力ください。
JBRC ホームページ (<http://www.jbrc.com>)

11. 主要諸元

型式	BCB360
電動機	直流ブラシレスモータ
バッテリー型式	専用リチウムイオンバッテリー BSL3640JP
バッテリー電圧・容量	36V-4Ah
充電器型式	専用充電器 CSL3618
充電器入力電圧	AC100V (50/60Hz)
充電時間	約 60 分
1 充電あたりの無負荷運転時間※ 1	低速 135 分、中速 70 分、高速 45 分
刈刃回転速度	3000 / 4500 / 6000 min ⁻¹
刈刃回転方向	左 (作業者から見て)
標準刈刃	チップソー (230 mm)
本機寸法	長さ 1850mm × 幅 665mm × 高さ 435mm
質量※ 2	4.4kg

■ 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

※ 1: 標準付属の刈刃をつけた状態の無負荷運転時間 (最大値) です。

(最長時間は低速無負荷運転時間です。)

作業時間は作業対象、作業方法、作業環境などの条件により異なります。

※ 2: 質量は肩掛バンド、刈刃、飛散防護カバー、カバー取付金具類を除いた質量です。

【交換部品リスト】

品 名	部品番号	JAN コード	備 考
バッテリー	558270		
充電器	558228		
刃物ボス A (刃受金具)	472864	4941735929708	
刃物ボス B (刃押え金具)	425144	4941735918047	
刈刃取付用ナット	640090	4941735700147	左ナット (M8)
グリス	211337		
純正チップソー 230 mm	558423	4941735933354	2026 年 7 月発売予定

※ お近くの販売店にて丸山純正チップソー 9 インチ (230mm) をお買い求めください。

12. オプション(純正品一覧)

()内は部品番号です

オプション
(別売)



サイズ cm

24.0(409571)

25.0(409572)

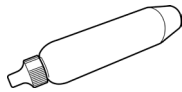
25.5(409573)

26.0(409574)

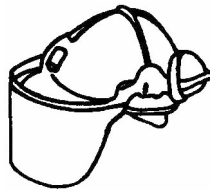
26.5(409575)

27.5(409576)

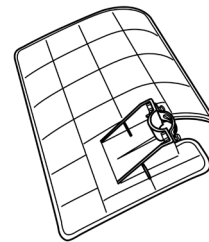
ファンクショナルブーツライト



グリス
(211337)



フォレストヘルメット
(587526)



NEO くらげくん
(425393)

サービスと保証について

■ 保証書について

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。所定事項が漏れなく記入されているか確認し、お読みになられた後は大切に保管してください。

本製品を改造した場合や取扱説明書に記載の正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

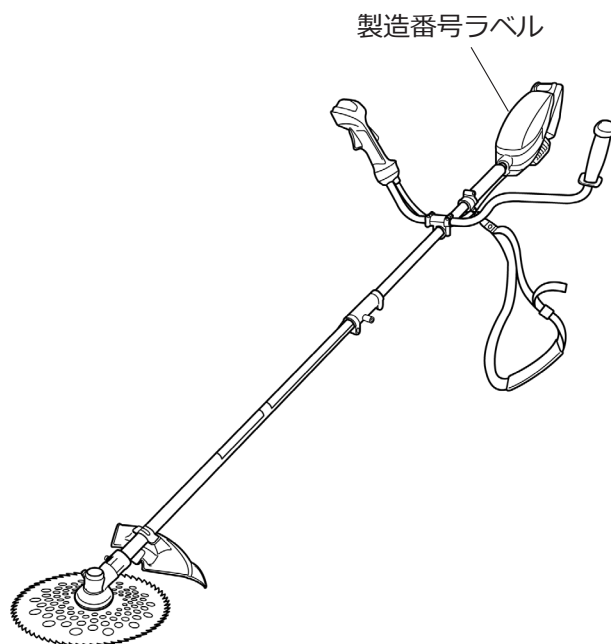
■ アフターサービスについて

○ 本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、ご購入の販売店に点検整備を依頼してください。このときの整備は有料となります。

○ 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、直ちに適切な整備をしてください。または、ご購入の販売店にご連絡ください。

○ 連絡していただく内容

- 型式名 _____
- 製造番号 _____
- 故障内容 なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。



■ 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、製品の製造打ち切り後 8 年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



しっかり点検！安心・長持ち！
末永くお使いいただくためにも
定期的な点検・整備をお勧めします。

詳しくはお求めいただいた販売店までお気軽にご相談ください。



本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター
無料通話 0120 - 898 - 114
丸山サポートセンターホームページ
<https://maruyama-support.jp/>



受付時間 9:00 ~ 17:00(土、日、祝日を除く)

本製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ① 型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名

修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、
ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。



株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

この取扱説明書の部品番号は 558478

P/N. 558478-00 26.04 IN